

【新潟大学】陸域環境動態研究室
特任助教（科研費・アラスカ温暖化操作実験プロジェクト）の公募

1. 所 属 新潟大学教育研究院自然科学系 農学系列（陸域環境動態研究室（永野研））
2. 担当学部・研究科 科研費採択プロジェクトの特任助教であるため該当しない
3. 担当予定科目 科研費採択プロジェクトの特任助教であるため該当しない
4. 担当分野 環境動態解析・地球生命科学・土壌学関連分野
5. 職種・人員 特任助教1名
6. 採用予定日 2025年10月1日以降のなるべく早い時期
7. 任 期 採用日より2026年3月31日まで。なお、当該プロジェクト終了（2030年3月末）までの間に限り、年度単位での更新があり得ます。
8. 給 与 年収400～600万円程度（経験・能力を考慮の上、「国立大学法人新潟大学特任教員等及び短時間勤務特任教員等給与規程」に則り決定し、年俸制で支給します。）
9. 職務内容・条件

【募集の背景、プロジェクトの説明】

科研費・基盤研究（S）「北方森林生態系の近未来像：永久凍土融解に対する生物圏機能の過渡応答」（25H00454）：

地球平均の最大4倍の速さで温暖化が進行している北極域では、近い将来にその周辺地域の永久凍土がほぼ消滅すると予測されています。この過程では土壌有機物の分解が進み、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの放出が加速することが懸念されていますが、その放出量推計には高い不確実性があります。また将来予測モデルの高性能化に必要な実証データがほとんど存在しません。本研究プロジェクトでは、永久凍土融解のホットスポットである米国アラスカの常緑針葉樹を対象とした永久凍土融解実験により、近未来の温暖化と土壌表層環境の急速な変化に対して、植物や土壌のさまざまな機能はどのように過渡的に変化し、温室効果ガスの放出に影響を与えるかについて分析します。本研究プロジェクトでは、特に以下の2点を目的としています。

1. 凍土融解や土壌温度の上昇に対する生物圏機能の過渡的応答を温室効果ガス（二酸化炭素・メタン）放出の観点で、多角的な調査を実施して解明する。
2. 観測結果をもとに凍土融解が進行する中での生物圏機能の変化をモデル化を試みるとともに、陸面過程（生態系）モデルの検証や高度化指針を提案する。特に申請者グループが構築してきた国際的な研究ネットワークを活かし、本研究の実験区以外にも多地点での観測データによる統合解析によって、より普遍的な知見を得ることを目標とする。

【募集の背景、プロジェクトの説明】

本公募では、上記のアラスカ北方林で実施中の永久凍土融解実験に関連し、温室効果ガス動態の変化を明らかにする研究を共に進めていただける研究者を募集します。主な業務としては、当該プロジェクトで予定されている土壌試料の室内実験および各種分析に携わっていただくとともに、夏季には現地（アラスカ）に長期滞在し、永久凍土融解実験や関連する観測作業のサポート、取得データの解析業務などにも従事していただきます。これらの活動を通じて得られた知見に基づき、学会発表や論文執筆などの成果発信にも積極的に取り組んでくださるポスドク研究者を、特任助教として採用します。

【各種制度・保険などについて】

昇給制度：雇用中に成し遂げた業績などを踏まえ、昇給する場合があります。

通勤交通費支給制度：あり（「国立大学法人新潟大学職員の給与(諸手当)に関する細則」第9条の規定による）

その他：諸手当については、「国立大学法人新潟大学特任教員等及び短時間勤務特任教員等給与規程」第

12条～第17条の規定による。

加入保険：健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険あり

就業場所における受動喫煙防止のための取組事項：キャンパス内全面禁煙

補足説明：他の労働条件については、国立大学法人新潟大学職員就業規則等によります。夏季などには、アラスカ大学フェアバンクス校（米国アラスカ州フェアバンクス市）の試験地にも長期滞在していただきます（旅費および滞在は別途支給します）。

1 0. 応募資格

- 博士の学位を有すること。なお、採用日までに学位取得見込みの者を含む。
- 加えて、これまでの研究活動になどおいて、以下のいずれかに携わった経験やその他の事項の習得にも意欲があることが望ましいです。

- 1) 土壌試料の採取・分析
- 2) 屋外環境などでの自動連続観測システムの立ち上げや維持管理
- 3) 生態系における温室効果ガス動態・物質循環の解明
- 4) 環境科学・生態系データの解析

1 1. 応募書類（JREC-IN の電子応募システムを利用して提出してください）

- (1) 履歴書：様式自由。氏名、住所、電話番号、メールアドレス、大学入学以降の学歴、職歴、学位、学会・社会活動、資格、賞罰（※）を記入のうえ写真を貼付し署名すること。
※履歴書の「賞罰」の欄には、受賞、刑事罰のみでなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や、該当する場合はその原因となった具体的な事由について記入のこと。「賞罰」の欄が無い場合は、備考等に賞罰の有無とその事由を記載のこと。万が一、経歴に虚偽の申告があった場合は、採用取消や懲戒処分となる場合があります。
- (2) 研究業績書：著書、学位論文、査読付き学術論文（SCI 雑誌に掲載された論文はその旨を明記すること）、総説、その他学術論文（査読無し）、学会発表、国際会議発表等に区分し、著者名、論文名、雑誌名、巻号、最初と最後の頁、発表年（西暦）の順に記載のこと。また、特許や学会賞等の受賞およびその他を記載のこと。
- (3) 業績リストに記載した論文のうち特に主要な論文 3 編の別刷 PDF
- (4) 応募者についての所見をうかがえる方 1 名の氏名と連絡先（メールアドレスを含めること）

1 2. 応募の締切 2025 年 6 月 30 日（月）必着（なお、適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります。）

1 3. 選考方法 書類選考を実施します。その後、面接を実施する場合があります。応募締切から 1 か月以内に結果を通知することとし、交通費・滞在費等の選考にかかる費用は、応募者負担とします。面接審査は、リモート面接の場合があります。選考完了後、応募書類はすべて当方にて責任を持って廃棄いたします。

1 4. 提出書類の送付先および問い合わせ先

- (1) 送付先 JREC-IN の電子応募システムを利用して提出してください
- (2) 問い合わせ先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
新潟大学 自然科学系 農学部 助教 永野博彦
電話：025-262-6652 E-mail：hnagano@agr.niigata-u.ac.jp

※ 新潟大学、同農学部、および同陸域環境動態研究室に関する情報は以下のホームページを参照のこと。

<https://www.niigata-u.ac.jp/>（新潟大学）

<https://www.agr.niigata-u.ac.jp/>（同農学部）

<https://sites.google.com/view/hirohikonaganohp>（同陸域環境動態研究室）

※ 新潟大学では、ダイバーシティ推進センター（<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>）を設置し、女性研究者支援を推進し

ています。

- ※ 新潟大学では、キャンパス・グローバリゼーションの実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しており、多様な言語背景を持つ学生および研究者との日本語や英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。